

第18回全国障害者スポーツ大会 優勝者紹介

優勝選手紹介（全スポ選手）

【種別・種目】

陸上競技 澤田 比奈（アースカラーズぷろぼの新大宮）

1部女子身体 50m（車いす）

昨年の全京都障害者総合大会陸上大会の部において、優秀な成績を収め、今大会への出場となった。全国大会では50m競走とビーンバック投に出場し、ともに自己ベストを更新するパフォーマンスを見せ、ビーンバック投は惜しくも準優勝となったが、50m競走では見事栄冠を勝ち取った。高校生の時から車いすマラソンなどのスポーツにも積極的に参加しており全国各地の大会にも出場している選手。

陸上競技 並河 賢（京都府庁）

1部男子身体 100m（大会新記録）／立幅跳

昨年の全京都障害者総合大会陸上大会の部において、身体障害の100m競走で大会記録を出し、全国大会への出場を決めた。全国はレベルの高い選手が多い中、他者を寄せ付けない走りを見せ、大会記録を更新する素晴らしい走りで優勝した。更に、2種目目に出場した立幅跳でも優勝し、今大会2個の金メダルを獲得した選手。

陸上競技 馬場 和也（京都市上下水道局南部営業所）

1部男子身体 1500m（車いす）

昨年の全京都障害者総合大会陸上大会の部において、優秀な成績を出し、全国大会への出場を勝ち取った。全国大会の1500mでは他の追従を許さないレース展開で圧倒的な力の差を見せ、見事頂点に立った。2種目目の800m競走でも銀メダルを獲得し、今後さらなる活躍が期待される選手。

陸上競技 柿並 高光（京都市洛南障害者授産所）

2部男子身体 100m／ソフトボール投

昨年の全京都障害者総合大会陸上大会の部の100m競走において、金メダルを獲得し、全国大会への切符を手にした。100m競走は普段通りの走りを心がけて競技に臨み、ソフトボール投げは練習の成果を出すという強い意思で臨んだ結果、見事、栄えある2個の金メダルを獲得した選手。

陸上競技 堀 栄子（京都市下京区）

2部女子身体 ジャベリックスロー

昨年の全京都障害者総合大会陸上大会の部において、優秀な成績を収め、今回の全国大会の出場となった。ジャベリックスローでは競技経験が浅いにもかかわらず、持ち前の身体能力で見事金メダルを獲得した。また、2種目目の1500m競走でも銅メダルを獲得した選手。

陸上競技 稲田 由（京都府立宇治支援学校）

少年女子知的 50m

昨年の全京都障害者総合大会陸上大会の部において、優秀な成績を収められ全国大会に出場されました。今大会の50m競走では他の選手に実力の差を見せつけ圧倒的な差で見事、優勝されました。普段からソフトボールにも積極的に取り組まれており、さまざまな分野で活躍されている選手。

陸上競技 釧持 誠（京都府立城陽支援学校）

少年男子知的 ソフトボール投

昨年の全京都障害者総合大会陸上大会の部において、ソフトボール投で優勝し、全国大会に出場を勝ち取った。全国の舞台でも大会記録を塗り替えるという大きな目標をかかげ、大観衆にも臆することなく競技に臨んだ結果、自己ベストを塗り替える素晴らしい投てきで優勝。陸上だけでなく野球などのさまざまなスポーツの分野で活躍中の選手。

陸上競技 福田 久美子（京都府立舞鶴支援学校）

少年女子知的 ジャベリックスロー

昨年の全京都障害者総合大会陸上大会の部において、優秀な成績を収め今大会への出場。競技本番は強い逆風の影響で他の選手たちが苦戦する中、練習どおりのパフォーマンスを発揮し、他を寄せ付けない圧倒的な強さをみせた。コーチと二人三脚で練習に励んだ結果、見事金メダルをつかみ取った選手。

水泳 山副 陽智（京都市立白河総合支援学校）

少年男子知的 25m平泳ぎ

昨年の全京都障害者総合大会水泳大会の部において、見事優勝し、全国大会に出場した。全国大会では25m平泳ぎで素晴らしい泳ぎをみせ、自らのベストを尽くした結果、見事優勝。50m平泳ぎでも銀メダルを獲得しており、全国の舞台でも動じない安定感のある泳ぎが強みの選手。

アーチェリー 北川 政延（京都市伏見区）

男子身体 リカーブ30mダブルラウンド

昨年の全京都障害者総合大会アーチェリー大会の部で優勝を果たし、本大会に出場。全国大会では、リカーブ30mダブルラウンドに出場し、並外れた集中力を武器に、平常心を保ちながら正確に矢を放ち続け、見事金メダルを獲得した選手。

卓球 窪野 貴雅（京都府立宇治支援学校）

1部男子身体 一般卓球シングルス（車いす）

昨年の全京都障害者総合大会卓球大会の部において、優秀な成績を収め、今大会に出場。普段の練習時間が限られており、監督・コーチと練習内容を試行錯誤しながら、全国大会に向けて取り組んできた。大会本番でも今までの成果を遺憾なく発揮し、優勝した選手。

フライングディスク 兒玉 三智夫（あまづキッチン）

男子知的 アクセラシー5

昨年の全京都障害者総合大会フライングディスク大会の部において、優秀な成績を収め、全国大会に出場。アクセラシーは集中力を要するスポーツで幅広い年齢層の選手が出場しており、競技人口が多く、レベルが高い競技。全国大会では一投でも外してしまうとメダルを逃してしまうという状況の中で見事パーフェクトを達成し、優勝した選手。